

FU プラグイン

フィールド閲覧編集条件設定プラグイン ご利用手引書

第1版



Powered by kintone



キャップクラウド株式会社
クラウドインテグレーション事業部

リリース日	版情報	製品Ver.情報
2026/03/25	第1版	v1.0.0

1. プラグイン概要	… P4～7
2. プラグイン設定方法	… P8～12
3. プラグイン設定運用環境反映	… P13
4. 設定内容のインポートとエクスポート	… P14
5. 使用上の注意	… P15～19

条件に合致するレコードにおいて、フィールドの閲覧や編集を制限できるプラグインです。レコード表示時、レコード保存時など、制限を実施するタイミングを細かく設定できます。


〈操作イメージ〉フィールドの閲覧不可

▼プラグイン適用アプリ レコード編集画面

顧客区分 販売店コード

販売店

----- **予め条件に指定したフィールドの値を変更します。**

ユーザー 

✓ 販売店



顧客区分

ユーザー

会社名 **条件を満たすと、対象のフィールドが非表示となり、閲覧不可となります。**
例)顧客区分が”ユーザー”のレコードでは、販売店コードを閲覧不可(非表示)とする

傘雲株式会社

【参考】閲覧不可にするタイミングについて(P6参照)
編集画面を表示したときや、詳細画面を表示したとき、追加画面を表示したときなど、細かく指定できます。

〈操作イメージ〉フィールドの編集不可

▼プラグイン適用アプリ レコード編集画面

ステータス **成約日**

未成約 ▼

見積No 見積名

M003 2025年8月分

条件を満たすレコードでは対象フィールドがグレースアウトし、編集不可となります。
例)ステータスが”未成約”のレコードでは、成約日を編集不可とする
ステータスが”成約”のレコードでは、見積No、見積名を編集不可とする

条件を満たしていないとフィールドを編集できます。

ステータス 成約日

成約 ▼

見積No 見積名

M003 2025年8月分

条件に指定したフィールド(ステータス)を変更すると編集不可のフィールドが変化します。

【参考】編集不可にするタイミングについて(P7参照)
編集画面を表示したとき、追加画面を表示したときなど細かく指定できます。

【参考】テーブル内のフィールドに編集不可を設定する場合、条件に合致するテーブルの行に対する制御にも対応しています。

▼例)明細区分が”通常”の行で、金額を編集不可とする

No.	明細区分	商品名	金額	
1	通常 ▼	ミネラルウォーター	1200	+ -
2	通常 ▼	オレンジジュース	1600	+ -
3	メモ ▼			+ -

条件に合致するテーブルの行のフィールドのみグレースアウトし、編集不可となります。

【参考】閲覧不可にするタイミングについて

▼[追加画面]を表示したとき

顧客区分 **ユーザー** []

販売店コード **販売店** []

条件を満たすとフィールドが非表示となります。

条件を満たしていないとフィールドが表示されます。

▼[レコードの再利用画面]を表示したとき

顧客区分 **ユーザー** []

販売店コード **販売店** []

▼[編集画面]を表示したとき

顧客区分 **ユーザー** []

販売店コード **販売店** []

▼[詳細画面]を表示したとき

顧客名	見積No	見積名	ステータス	成約日	
傘雲株式会社	M003	2025年8月分	成約	2025-07-31	[編集] [閉じる]

顧客区分 **ユーザー** []

▼[レコード印刷画面]を表示したとき

印刷する

顧客区分 **ユーザー** []

【参考】編集不可にするタイミングについて

▼[追加画面]を表示したとき

条件を満たすとフィールドが編集不可となります。

未成約

成約

▼[レコードの再利用画面]を表示したとき

条件を満たしていないとフィールドを編集できます。

成約

未成約

▼[編集画面]を表示したとき

条件を満たすとフィールドが編集不可となります。

未成約

成約

▼[レコード一覧編集画面]を表示したとき

顧客名	見積No	見積名	ステータス	成約日	
傘雲株式会社	M003	2025年8月分	未成約		
傘雲株式会社	M002	2025年7月分	成約	2025-06-30	

条件を満たすとフィールドが編集不可となります。

未成約

成約

・プラグインを追加したアプリのプラグイン設定画面で設定

プラグインインストール後の設定方法を記載しております。
 プラグインのインストール方法はご不明な場合には、下記をご参照ください。
https://jp.cybozu.help/k/ja/id/0408.html#add_plugin_plugin_10

<STEP1>アプリの一覧画面からプラグイン設定画面を開きます。



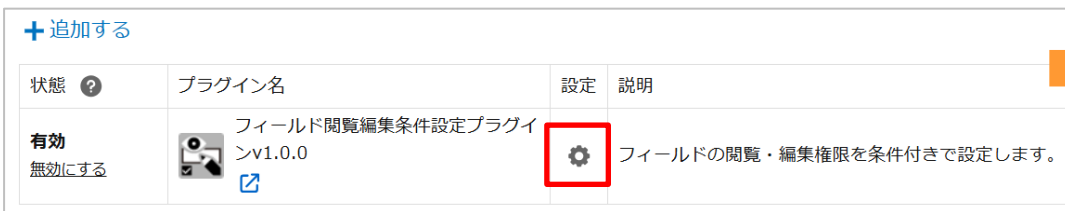
<STEP2>「追加する」をクリックします。



<STEP3>「フィールド閲覧編集条件設定プラグイン」にチェックを入れ、画面右下の「追加」をクリックします。



<STEP4>設定「⚙️」マークをクリックします。



<STEP5>プラグインの設定画面が表示されます。



- ・ライセンスキーの設定
- ・タブ名の設定、設定する権限の選択

<STEP6>基本設定を行います。

ライセンスキー

VPE-4674-932v

ライセンスキーを入力します。
※ライセンスキーは別途ご案内します

タブを複製します。

タブを削除します。

⇒ 設定1



⇒ 設定2



閲覧編集制限を複数設定する場合は
こちらをクリックしてタブを追加します。

基本設定

タブ名

タブ名を入力します。

レコード詳細画面上には表示されないため、設定内容を識別する名称としてご利用ください。

設定1

閲覧・編集不可の設定

設定したい権限にチェックをつけます。

閲覧、編集制限をともに設定したい場合は両方にチェックをつけてください。



閲覧



編集

【ご注意】同じタブ内で設定する場合、このあと設定する実行条件(P12参照)も共通となります。
閲覧と編集をそれぞれ異なる条件で制限したい場合は、閲覧と編集を別のタブに分けて設定してください。

- ・閲覧不可にするタイミングの設定
- ・閲覧不可のフィールドの設定

<STEP7>閲覧権限の設定を行います。
P9<STEP6>で”閲覧”にチェックをつけた場合のみ閲覧不可の設定欄が表示されます。
閲覧不可は設定せずに編集不可のみ設定する場合は、<STEP8>に進んでください。

閲覧不可の設定

閲覧不可にするタイミング *

- [追加画面]を表示したとき
- [レコードの再利用画面]を表示したとき
- [編集画面]を表示したとき
- [詳細画面]を表示したとき
- [レコード印刷画面]を表示したとき

閲覧を不可とするタイミングを選択します。(複数選択可)
【参考】閲覧不可にするタイミングについて(P6参照)

閲覧不可のフィールドを設定

販売管理進捗



✓ 販売管理進捗

複数のフィールドを設定する場合は
+ボタンで設定欄を追加します。

閲覧不可とするフィールドをプルダウンから選択します。
フィールド名を直接入力して検索することもできます。



- ・編集不可にするタイミング、対象フィールドの種類の設定
- ・編集不可のフィールドの設定

<STEP8>編集権限の設定を行います。
P9<STEP6>で”編集”にチェックをつけた場合のみ編集不可の設定欄が表示されます。
編集不可を設定せずに閲覧不可のみ設定する場合は、次の<STEP9>に進んでください。

編集不可の設定

編集不可にするタイミング *

- [追加画面]を表示したとき
- [レコードの再利用画面]を表示したとき
- [編集画面]を表示したとき
- [レコード一覧編集画面]を表示したとき

対象フィールドの種類

- 通常フィールド
- テーブルの列
- 条件に合致するテーブルの行

編集不可とする対象フィールドについて選択します。

編集を不可とするタイミングを選択します。(複数選択可)
【参考】編集不可にするタイミングについて(P7参照)

編集不可のフィールドを設定

進捗

+

複数のフィールドを設定する場合は+ボタンで設定欄を追加します。

進捗状況

編集不可とするフィールドをプルダウンから選択します。
フィールド名を直接入力して検索することもできます。

【参考】編集不可の設定条件について

- ・編集不可とするフィールドが通常フィールドの場合は**通常フィールド**を選択してください。
- ・編集不可とするフィールドがテーブル内のフィールドで、テーブル内の全ての行を対象に、フィールドを列で編集不可とする場合は**テーブルの列**を選択してください。
- ・編集不可とするフィールドがテーブル内のフィールドで、条件に合致するテーブル行の対象フィールドのみ編集不可とする場合は**条件に合致するテーブルの行**を選択してください。

※このあと設定する実行条件(P12参照)がテーブル内フィールドである必要があります。

・閲覧編集不可の実行条件の設定

<STEP9> 閲覧編集不可の実行条件を設定します。(任意)

閲覧編集不可の実行条件の設定

フィールド閲覧編集実行条件



【参考】 閲覧編集不可の実行条件について
設定した条件を満たしているレコードのみ、指定したタイミングで閲覧編集が不可になります。

有効

閲覧編集不可を実行する条件を設定する場合のみ、「有効」にチェックをつけます。

閲覧編集不可を実行する条件を指定します。

【テーブル】商品名



次のキーワードを含む



傘雲システム



条件に利用するフィールドを選択します。

フィールド名を直接入力して検索することもできます。



すべての条件を満たす



いずれかの条件を満たす

複数の条件を設定する場合は+ボタンで設定欄を追加し、
[すべての条件を満たす]もしくは[いずれかの条件を満たす]を選択します。

条件を削除する場合は
-ボタンで設定欄を削除します。

Focus U 顧客管理/販売管理パッケージ専用機能



メモ



【ご注意】 テーブル内のフィールドを条件に設定した場合について

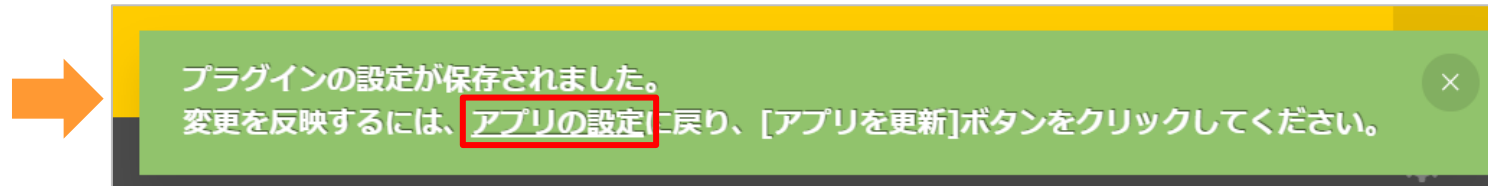
- ・テーブル内に条件を満たす行が1つでも存在するレコードでは、閲覧編集不可の条件が実行されます。
- ・編集不可の設定条件を「条件に合致するテーブルの行」にしている場合は、条件を満たすテーブル行の対象フィールドが編集不可になります。

プラグイン設定は設定画面で設定内容を保存した後、アプリ設定画面で「アプリを更新」を押す事で運用環境に設定内容が反映します。

<STEP1> プラグイン設定画面で「保存」をクリックします。



<STEP2> 表示されたダイアログの「アプリの設定」をクリックします。



<STEP3> 「アプリを更新」をクリックします。



設定内容のインポートとエクスポート

プラグイン設定内容をJSON形式ファイルでエクスポートできます。また、JSON形式ファイルをインポートすることで設定内容を読み込み可能です。別アプリにプラグイン設定内容を反映させる場合に利用します。

▼設定のエクスポート

データ移行

参照

インポート

エクスポート

「エクスポート」をクリックします。



JSONファイルがエクスポートされます。

▼設定のインポート

データ移行

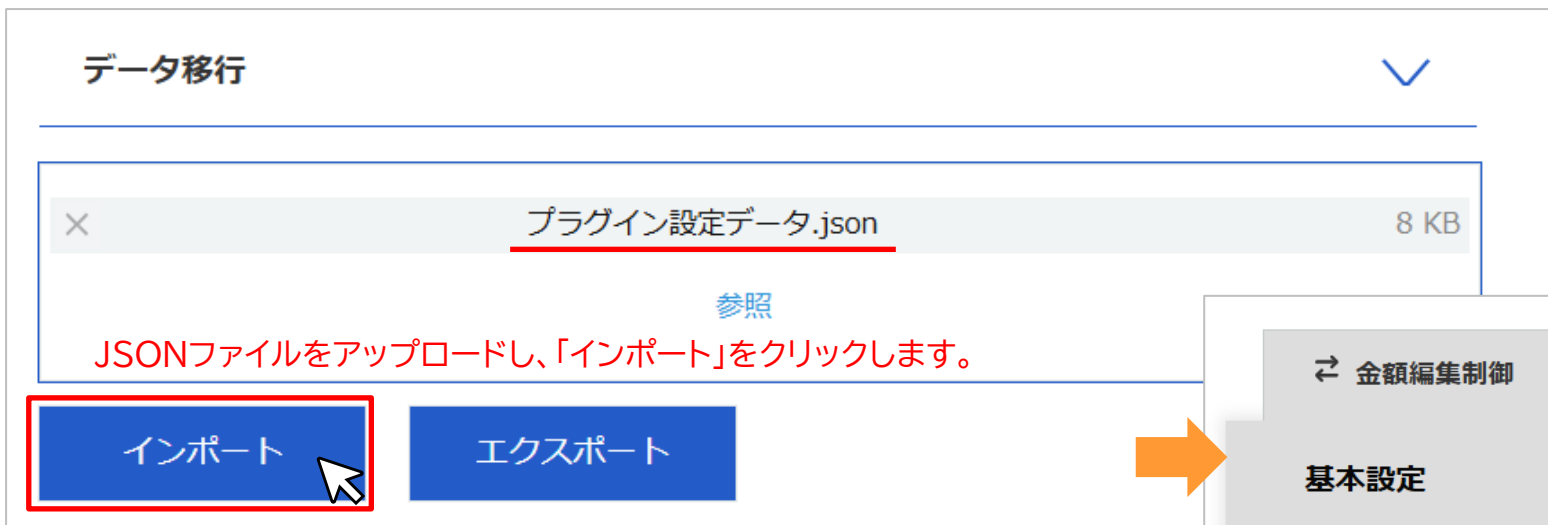
× プラグイン設定データ.json 8 KB

参照

JSONファイルをアップロードし、「インポート」をクリックします。

インポート

エクスポート

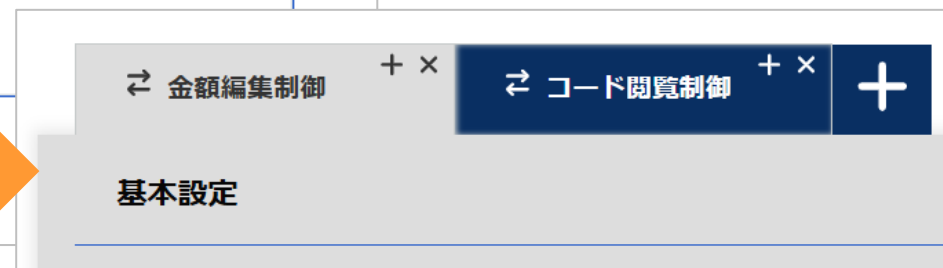


金額編集制御 + ×

コード閲覧制御 + ×

+

基本設定



JSONファイル内の設定内容が追加されます。

【ご注意】

インポート時、設定内容は上書きされます。
設定済みの内容が削除されますのでご注意ください。

・本プラグインの使用に際しては、以下のような制限事項があります。あらかじめ、これらの点に注意してください。

利用できるkintone のフィールドは以下になります。

フィールド種別	閲覧不可のフィールド	編不可のフィールド※1	設定するテーブル	実行条件に利用できる
レコード番号	○	×	×	○※4
作成者	○	×	×	○※4
作成日時	○	×	×	○※4
更新者	○	×	×	○※4
更新日時	○	×	×	○※4
文字列(1行)	○	○※2	×	○
文字列(複数行)	○	○	×	○
リッチエディター	○	○	×	○
数値	○	○	×	○
計算	○	×	×	○※3
チェックボックス	○	○	×	○
ラジオボタン	○	○	×	○
複数選択	○	○	×	○
ドロップダウン	○	○	×	○
ユーザー選択	○	○	×	○
組織選択	○	○	×	○
グループ選択	○	○	×	○

※1 ルックアップで設定されるフィールドは設定不可

※2 文字列の自動計算になっている場合は設定不可

※3 値の変更イベントが発生しないため、フィールド値を変更して条件に一致しても閲覧・編集不可は適用されません

※4 下記イベントではフィールドの値が取得できないため条件に使用した場合は対象外となります

- ・レコード追加画面を表示した後(app.record.create.show)
- ・フィールドの値を変更したとき(app.record.create.change.フィールドコード)
- ・保存するとき(app.record.create.submit)

・本プラグインの使用に際しては、以下のような制限事項があります。あらかじめ、これらの点に注意してください。

利用できるkintone のフィールドは以下になります。

フィールド種別	閲覧不可のフィールド	編不可のフィールド※1	設定するテーブル	実行条件に利用できる
日付	○	○	×	○
時刻	○	○	×	○
日時	○	○	×	○
リンク	○	○	×	○
添付ファイル	○	○	×	○
ルックアップ	○	○	×	○※3
テーブル	○	○	○	○
関連レコード一覧	○	×	×	×
カテゴリー	○	×	×	×
ステータス	×	×	×	○※4
作業者	×	×	×	○※4
ラベル	×	×	×	×
スペース	○	×	×	×
罫線	×	×	×	×
グループ	○	×	×	×

※1 ルックアップで設定されるフィールドは設定不可

※2 文字列の自動計算になっている場合は設定不可

※3 値の変更イベントが発生しないため、フィールド値を変更して条件に一致しても閲覧・編集不可は適用されません

※4 下記イベントではフィールドの値が取得できないため条件に使用した場合は対象外となります

- ・レコード追加画面を表示した後(app.record.create.show)
- ・フィールドの値を変更したとき(app.record.create.change.フィールドコード)
- ・保存するとき(app.record.create.submit)

・本プラグインの使用に際しては、以下のような制限事項があります。あらかじめ、これらの点に注意してください。

■使用環境の制限

環境	対応	制限事項
モバイル	×	
ゲストスペース	○	
ゲストユーザー	△	プラグイン設定画面は利用不可
IPアドレス制限環境	○	
セキュアアクセスオプション	○	

■テーブル情報が存在しないレコードの制限

以下のレコードは、テーブル情報が存在せず、閲覧・編集に関する不可設定が適用されません。

- ・CSV 読み込みでテーブル情報を設定せずに作成したレコード
- ・APIでテーブル情報を設定せずに作成したレコード
- ・既存レコードに後からテーブルフィールドを追加した場合

■不可設定の重複と優先順位

- ・複数タブに設定が存在する場合：
複数タブにまたがって設定があっても、優先順位はありません。
- ・同じフィールドに対して複数設定がある場合：
1つでも条件に一致する設定があれば、閲覧不可・編集不可が適用されます。

■一覧画面および CSV 出力について

閲覧不可に設定したフィールドでも、一覧画面上では表示されます。同様に、CSV 書き出し時もフィールドは出力されます。

■CSV 読み込み時の動作

編集不可が設定されていても、CSV 読み込みを行うと値は上書きされます。

・本プラグインの使用に際しては、以下のような制限事項があります。あらかじめ、これらの点に注意してください。

■ 閲覧不可設定時の注意事項

以下の要素は DOM 改変が必要となるため、kintone のアップデートにより動作が不安定になる可能性があります。

- ・スペース (ID未設定の場合、設定不可)
- ・テーブルの「+」「-」ボタン

その他、設定上の以下の制限がありますのでご注意ください。

- ・関連レコード一覧の「列単位」の非表示は不可、テーブル全体の閲覧不可は可能
- ・グループを閲覧不可にすると、グループ内の全フィールドが閲覧不可になります。

■ 編集不可設定時の注意事項

テーブルのフィールドの編集不可設定について、対象フィールドの種類で「テーブルの列」または「条件に合致するテーブルの行」を選択した場合は、編集不可にするタイミング「[レコード一覧編集画面]を表示したとき」を選択することはできません。

■ 必須項目に関する注意

必須項目を閲覧不可・編集不可に設定するとユーザーが入力できず、kintoneの入力チェックでエラーが発生する可能性があります。

■ 実行条件設定(閲覧・編集不可)の動作仕様

1) 条件一致時の動作

条件に一致すると、閲覧・編集不可が適用されます。フィールド値を変更して条件に一致した場合も同様です。但し、以下のフィールドについては値の変更イベントが発生しないため、条件に一致しても不可設定が更新されません。

- ・ルックアップフィールド
- ・自動計算フィールド

2) 条件フィールドの削除・変更

条件に使用しているフィールドを削除、またはフィールドコードを変更すると、フィールド情報が取得できず、条件判定が行えなくなり対象外となります。

・本プラグインの使用に際しては、以下のような制限事項があります。あらかじめ、これらの点に注意してください。

■ 実行条件設定(閲覧・編集不可)の動作仕様(つづき)

3) 条件判定が行えないフィールドと対象外イベント

以下のフィールドはレコード追加画面で値が取得できないため、条件に使用した場合は対象外となります。

<対象外のフィールド>

・レコード番号 ・作成者 ・作成日時 ・更新者 ・更新日時 ・ステータス ・作業者

<対象外となるイベント>

・レコード追加画面を表示した後(app.record.create.show)
・フィールドの値を変更したとき(app.record.create.change.フィールドコード)
・保存するとき(app.record.create.submit)

4) テーブル情報が取得できないレコード: 前出「テーブル情報が存在しないレコードの制限」と同様、条件判定が行えず対象外です。

5) テーブルを条件に使用した場合

テーブル内に1行でも条件を満たす行が存在すれば対象となります。

・編集不可設定における注意

編集不可の設定で対象フィールドの種類「条件に合致するテーブルの行」を選択した場合は、行単位で判定されます。

■ Focus U 顧客管理/販売管理パッケージ専用機能について

・弊社パッケージ専用の機能となります。

※パッケージ併用時以外では基本的には使いません。

Focus U 顧客管理/販売管理パッケージ専用機能

実行条件のタイミング ? 閲覧・編集不可を設定するタイミング ?

無効 有効

閲覧・編集不可を設定するタイミングのフィールドを設定

高談金額(税抜) +



<製品に関するお問合せはこちらまで>

キャップクラウド株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿3-5-6 キュープラザ新宿三丁目

担当: Focus U(CI事業) サポート担当

メール: support@focus-u.jp 電話: 03-6824-1007

受付時間: 平日9:30~12:00/13:00~17:30(土日・祝日、当社指定休日を除く)